

Quest NetVault Backup 12.x

簡単設定ガイド



取扱上の制約

Copyright © 2018 Quest Software Inc. All rights reserved.

NetVault Backup 12.x 簡単設定ガイド Revision 1.2 (2019年7月)

本ガイドは、NetVault Backup を初めてご使用される方を対象とし、NetVault Backup のインストールから、デバイス設定方法、バックアップ／リストアまで、基本的な操作方法について簡単に説明しています（本ガイドの画面スナップショットは NetVault Backup 12.0 を使用していますが、セットアップタイプの選択手順のみ 12.1 を使用しています）。

NetVault Backup 設定に関する詳細は、「NetVault Backup 12.x Administrator's Guide」他、各種操作ガイドをご覧ください。各種操作ガイドは、弊社 WEB サイトからダウンロードいただけます。

<https://support.quest.com/ja-jp/netvault-backup/12.0/technical-documents>

※本簡単設定ガイドでは、NetVault Backup 12 の Linux x86 (Pure 64)版、Linux x86 (Hybrid)版と Windows x86 (32/64-bit)版のインストール方法のみ説明しています。その他の OS のインストール方法は、ご利用の NetVault Backup バージョンの Installation Guide をご覧ください。

注意：本ガイドに記載されている画像等は、編集されている場合がございます。実際の画像と若干異なることもあることをご了承ください。



改版履歴

変更日付	リビジョン	変更箇所	変更内容
2018/12	1.0	－	初版
2019/1	1.1	第 5 章 5-2	ドライブの手動設定方法を追加
2019/7	1.2	－	NetVault Backup バージョンを 12.x へ変更
		第 1 章	Linux/Windows のインストールにセットアップタイプの選択ステップを追加 ※NetVault Backup 12.1 から追加されたステップ

目次

第1章：NetVault Backup サーバーのインストール

1-1. インストール要件

1-2. Linux x86(Pure64 または Hybrid)版のインストール

1-3. Windows x86 (32/64-bit) 版のインストール

第2章：クライアントのインストール

2-1. Linux x86(Pure64 または Hybrid)版のインストール

2-2 Windows x86(32/64-bit)版のインストール

第3章：NetVault Backup Console を起動する

第4章：NetVault Backup クライアントを NetVault Backup サーバーに追加する

4-1. NetVault Backup クライアントを追加する

第5章：バックアップ装置の設定を行う

5-1. 仮想テープライブラリを使用する

5-2. オートローダ/テープ ライブラリを使用する

第6章：バックアップ・リストアを行う

6-1. バックアップジョブを作成する

6-2. リストアジョブを作成する

第1章 : NetVault Backup サーバーのインストール

NetVault Backup ソフトウェアのインストール方法は、OS により異なります。本簡単設定ガイドでは、Linux x86(Pure64)版, Linux x86(Hybrid)版, Windows x86(32/64-bit)版のインストール方法のみ説明します。

その他 OS の NetVault ソフトウェアをインストールする場合は、「Quest NetVault Backup 12.x Installation Guide」をご覧ください。「Quest NetVault Backup 12.x Installation Guide」は、弊社の下記 web サイトでご覧いただけます。

<https://support.quest.com/ja-jp/netvault-backup/12.0/technical-documents>

1-1. インストール要件

NetVault Server システム要件

OS	CentOS 7.x, 6.x Debian 9.x (64-bit), 8.x (64-bit), 7.x Oracle Linux 7.x RHEL 7.x, 6.x, 5.x SLES 12, 12SP1, 12SP2, 12SP3, 11SP2, 11SP2, 11SP3 Windows 7 SP1 Windows Server 2008, 2008R2 Windows Storage Server 2008, 2008R2 Windows Server 2012, 2012R2 Windows Server Core 2012, 2012R2 Windows Storage Server 2012, 2012R2 Windows Server 2016
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

サポートされる OS の最新情報は次の URL ご参照ください。

<https://support.quest.com/ja-jp/netvault-backup/12.0/technical-documents>

URL に移動後、左側にある「Compatibility Matrix」からご確認ください。

メモリ	12GB 以上推奨
プロセッサ	2.5Ghz Dual-socket, 4 Core 以上推奨

システム要件につきましては以下をご参照ください。

<https://support.quest.com/ja-jp/download/downloads?id=6091543>



ストレージ Linux – 800MB
Windows - 800MB
NetVault Database – Database のサイズは、ファイルをバックアップすると、1 ファイル/ディレクトリ当たり、71 バイト+ファイルの絶対パス長（バイト） 増えていきます。
（例） 平均絶対パス長が 29 バイトの場合、1 保持ファイル/ディレクトリ当たり 100 バイト増えていきま
す。

Windows 要件 Microsoft Visual C++ 2010SP1 再頒布可能パッケージ
Microsoft Visual C++ 2013 再頒布可能パッケージ
NetVault インストールファイルに同梱されておりますので、未インストールの場合、インストールプロセス中
にポップアップが表示され、インストールすることができます。

Linux 要件 Linux のインストール要件は御使用になるディストリビューションや x86, または x86_64 なのかにより異
なります。詳しくは以下をご参照ください。
<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/netvault-backup/12.0/installation-guide>

ブラウザ Microsoft Internet Explorer 11 以降
FireFox 20 以降
Chrome 28 以降
Safari 6 以降

NetVault Client システム要件

OS Linux
Windows
Mac OS
Solaris
HP-UX
AIX
FreeBSD
対応 OS 詳細につきましては、以下 URL をご参照ください。また、本ガイドでは、基本的に Linux と
Windows 環境のみについて記述しております。
<https://support.quest.com/ja-jp/netvault-backup/12.0/technical-documents>
URL に移動後、左側にある「Compatibility Matrix」からご確認ください。



1-2. Linux x86(Pure64 または Hybrid)版のインストール

ここでは、Linux 版 NetVault Backup サーバーのインストールについて説明します。

1 管理者アカウント (root) でログインします。

2 インストール・ファイルのトライアルバージョンは、弊社 Web サイトからダウンロード可能です

評価期限 30 日(期限を延長したい場合は弊社 SE にご相談ください)

<https://www.quest.com/jp-ja/register/55545>

タイトル名	掲載日	バージョン	ダウンロード
NetVault Backup Server and Client Distribution for Windows (32/64-bit)			と
NetVault Backup Server Distribution for Linux x86 (Hybrid 32/64-bit Build)			と
NetVault Backup Server Distribution for Linux x86 (Pure 64-bit Build)			と
NetVault Backup Client Distribution for Linux x86 (Hybrid 32/64-bit Build)			と
NetVault Backup Client Distribution for Linux x86 (Pure 64-bit Build)			と

3 Linux 版 NetVault Backup Server インストール・ファイルの
実行

Linux 版 NetVault Backup Server のインストールを実行します
(この画面は RHEL7.5 です)

①実行権限を付与します

```
> chmod +x ./netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Server-LinuxX86Pure64
```

②インストール・ファイルを実行します

```
> ./netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Server-LinuxX86Pure64 --mode text
```

③最初に言語の選択をします。

[5] Japanese – 日本語 (Default) を選択します

```
[root@rhel75-138 software]# ls -l
合計 229112
-rw-r--r-- 1 root root 234606627 10 月 24 16:33 netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Server-LinuxX86Pure64
[root@rhel75-138 software]#
[root@rhel75-138 software]# chmod +x ./netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Server-LinuxX86Pure64
[root@rhel75-138 software]# ls -l
合計 229112
-rwxr-xr-x 1 root root 234606627 10 月 24 16:33 netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Server-LinuxX86Pure64
[root@rhel75-138 software]#
[root@rhel75-138 software]# ./netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Server-LinuxX86Pure64 --mode text
言語の選択

インストールする言語を選択してください
[1] English - English
[2] Simplified Chinese - 简体中文
[3] French - Francais
[4] German - Deutsch
[5] Japanese - 日本語
[6] Korean - 한국어
オプションを選択してください [5]:
```

4 NetVault Backup サーバーに必要なセットアップタイプを選択します。

[1] 標準 : を選択します。

※ セットアップタイプの選択は NetVault Backup 12.1 以降で表示されます。

```
ようこそ NetVault Backup セットアップウィザードへ。

警告:
この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製品の全部または一部を無断で複製したり、
無断で複製物を頒布すると著作権の侵害となりますのでご注意ください。

-----
セットアップタイプ

NetVault Backup サーバーに必要なセットアップのタイプを選択してください

[1] 標準: スタンドアロンモードで使用する NetVault Backup を有効にします。
[2] 管理対象サービスプロバイダ: サービスとしてバックアップ モードで使用する NetVault Backup を有効にします。
オプションを選択してください [1]:
```

Quest
Join the Innovation.

5 NetVault Backup ソフトウェアの使用許諾契約の内容を確認して同意します。

使用許諾契約の内容確認のために「Enter」キーを押し、「使用許諾契約に同意」が表示されるまで進めます。

次の使用許諾契約をお読みください。ソフトウェアのインストールを続けるには、使用許諾契約に同意する必要があります。
続けるには [Enter] キーを押してください :

使用許諾契約に同意であれば「y」を選択し「Enter」キーを押します。

(m) 完全なる合意
本契約は、本契約の対象に関する当事者らの終局的な合意として当事者らにより意図されており、当事者間の従前又は同時期の合意が当事者らによって署名されていない限り、かかる合意の存在により否定されません。かかる合意がない場合、本契約及び該当する署名付きオーダー又は契約条件記載見積書は本契約の対象にかかる諸条件を完全に記載した唯一の書面となり、本契約にかかる訴訟または仲裁手続においては本契約に関してこれ以外のいかなる証拠も提出されないものとします。各当事者は、本契約を締結するにあたり、本契約に明示的に定められた以外の記述、表明、確認又は保証（過失又は無知によるかを問いません。）に依拠したことがなく、またこれらに関して何らの権利又は救済も有していないことを認めます。法律又は規制によって本契約又はオーダーなどの契約への本人の署名（電子署名ではなく）が要求される管轄権においては、かかる法律又は規制にかかわらず、両当事者はここに、本契約又はオーダーへの認定電署名が執行可能且つ有効な契約の作成のために十分であることに合意します。本契約の条件とオーダーに記載の条件が相反する場合は、プロバイダ及びカスタマーによる署名がある場合のみ署名付きオーダー又は契約条件記載見積書の条件が優先し、かかる署名がない場合には本契約の条件が優先します。本契約又はオーダーのいずれも、各当事者の適法な権限のある代表者が署名した書面による場合を除いて、修正又は変更されません。その他いかなる行為、文書、本契約若しくはオーダーの
続けるには [Enter] キーを押してください :
利用又は慣習も、本契約又はオーダーを修正又は変更するものとはみなされません。
Rev 20170601.2
続けるには [Enter] キーを押してください :
使用許諾契約に同意しますか？ [y/n]: y

6 NetVault Backup インストール先ディレクトリを指定します
デフォルト「/usr/netvault」で良ければ「Enter」キーを押します。

NetVault Backup のインストール先ディレクトリを指定してください。
インストールディレクトリ [/usr/netvault]:

7 NetVault Backup マシン名を指定します
デフォルトのホスト名で良ければ「Enter」キーを押します。

このマシンでの NetVault Backup 名を選択してください。
注意 : NetVault Backup のマシン名は、大文字 (A-Z)、小文字 (a-z)、数字 (0-9)、ハイフン ("-")、およびアンダースコア ("_") を含む、最大 63 文字が使用できます。
マシン名 [rhel75-138]:

8 NetVault Backup パスワードを指定します
さらに確認のためにパスワードを再入力し「Enter」キーを押します。

マシンのパスワード
このマシンの NetVault Backup パスワードを入力してください。
メモ : パスワードは 100 文字を超えることができず、特殊文字 (\) と空白文字を含むことができません。
パスワード :
パスワード再入力 :

9 NetVault Backup の PostgreSQL データベースディレクトリを指定します。
デフォルトで良ければ「Enter」キーを押します。

NetVault Backup データベースディレクトリ
NetVault Backup データベースを保存するディレクトリを指定してください。
データベースは大規模になる可能性があります。
データベースディレクトリ [/usr/netvault/db]:



10 PostgreSQL データベースのユーザアカウントのオプション指定

「[1] PostgreSQL Linux ユーザの作成の許可」を選択するため

[1]または「Enter」キーを押します。

PostgreSQL Linux user account

PostgreSQL で PostgreSQL
処理を実行するには、別のユーザーアカウントが必要です。このユーザーアカウントでは、サーバで
管理されるデータのみを所有し、その他のデーモンとは共有しないでください。

PostgreSQL Linux ユーザーアカウントのオプションを指定

[1] NetVault Backup で ユーザーの作成を許可
[2] Linux ユーザー名
オプションを選択してください [1]:

11 PostgreSQL データベーススーパーユーザーのパスワードを入力しま す。

さらに確認のためにパスワードを再入力し「Enter」キーを押します。

NetVault Backup で ユーザーの作成を許可

PostgreSQL データベーススーパーユーザーのパスワード

NetVault Backup の PostgreSQL データベーススーパーユーザー (postgres) のパスワードを入力してください。

メモ: パスワードは 100 文字を超えることができず、特殊文字 (\) と空白文字を含むことができません。

パスワード:
パスワード再入力:

12 NetVault Backup Server インストール用入力内容の確認

インストール用入力内容が正しいければ「Enter」キーを押します

インストールする準備ができました

コンピュータで、NetVault Backup のインストールを開始するセットアップの準備が整いました。
下の情報を見て、正しいことを確認してください。

インストールディレクトリ: /usr/netvault
データベースディレクトリ: /usr/netvault/db
マシン名: rhel75-138

続けるには [Enter] キーを押してください :

13 NetVault Backup Server のインストールが実行されます

しばらくお待ちください。NetVault Backup をお使いのコンピュータにインストール中です。

```
インストール中
0% _____ 50% _____ 100%
#####
```

```
NetVault Backup ライブラリへのリンクの作成
NetVault Backup 設定のアップデート
NetVault Backup サーバライセンスのインストール
プラグインのインストール audtl-12-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cli-12-0-0-18-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール con-12-0-0-3-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cpy-12-0-0-7-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール ddv-12-0-0-2-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール dvx-12-0-0-3-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール dvz-12-0-0-3-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール dvz-12-0-0-3-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール nty-12-0-0-0-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール nvd-12-0-0-11-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール nvf-12-0-0-12-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール raw-12-0-0-2-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール rda-12-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール rpt-12-0-0-0-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール snm-12-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール ver-12-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
NetVault Backup マシンパスワードの設定
PostgreSQL を設定しています: 準備中
PostgreSQL を設定しています: データベースクラスタの初期化
PostgreSQL を設定しています: 設定のアップデート
PostgreSQL を設定しています: サービスの作成
NetVault Backup 設定のアップデート
PostgreSQL を設定しています: サービスを起動中
NetVault Backup サービスのインストール
NetVault Backup サービスの開始
アンインストールを作成中
#
-----
セットアップウィザードによる NetVault Backup のインストールが完了しました。
```

14 NetVault Backup Server インストール後のデーモン動作の確認をします

> ps -ef | grep nv

を実行して NetVault backup デーモンプロセスの確認をします。

```
[root@rhel75-138 software]# ps -ef | grep nv
root 386 2 0 10 月 23 ? 00:00:00 [xfs-conv/dm-0]
root 552 2 0 10 月 23 ? 00:00:00 [xfs-conv/sda1]
root 683 1 0 10 月 23 ? 00:00:00 /usr/bin/abrt-watch-log -F BUG: WARNING: at WARNING: CPU: INFO: possible recursive
locking detected ernel BUG at list_del corruption list_add corruption do_IRQ: stack overflow: ear stack overflow (cur: eneral
protection fault nable to handle kernel ouble fault: RTNL: assertion failed eek! page_mapcount(page) went negative! address at
NETDEV WATCHDOG yscstl table check failed : nobody cared IRQ handler type mismatch Kernel panic - not syncing: Machine Check
Exception: Machine check events logged divide error: bounds: coprocessor segment overrun: invalid TSS: segment not present:
invalid opcode: alignment check: stack segment: fpu exception: simd exception: iret exception: /var/log/messages -- /usr/bin/abrt-
dump-oops -xTD
root 1703 1133 0 10 月 23 ? 00:00:00 gdm-session-worker [pam/gdm-launch-environment]
root 19009 1 0 16:49 pts/0 00:00:00 /usr/netvault/bin/nvpmgr
root 19010 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvcvgr 2
root 19014 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvnmgr 3
root 19015 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvavp 8
root 19050 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvlogdaemon 7
root 19058 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvstatsmgr 9
root 19062 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvrepdbmgr 10
root 19064 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvmedmgr 4
root 19073 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvshed 5
root 19092 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvconsolevc 15
root 19102 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvwsrequesthandler 14
root 19110 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvdeploymentmgr 17
root 19127 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvwpview 18
root 19130 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvcatalogmgr 19
root 19136 19009 0 16:49 pts/0 00:00:00 nvcatalogwkr 118
root 19699 18490 0 16:53 pts/0 00:00:00 grep --color=auto nv
```

15 NetVault Backup Server インストール後処理で不足依存ファイルの確認をします

> cd /usr/netvault

> find ./|grep -v -E "pgAdmin3|stackbuilder|postgresqllib|libssl|replaced/"|xargs file|grep 'shared object|executable'|cut -d: -f1|xargs ldd 2>/dev/null|grep -v '^\$' |perl -pe 's/ *\$/(.*)\$/'|sort -u|grep "not found"|grep -v -E "PIC"

```
[root@rhel75-138 software]# cd /usr/netvault
[root@rhel75-138 netvault]# find ./|grep -v -E "pgAdmin3|stackbuilder|postgresqllib|libssl|replaced/"|xargs file|grep 'shared
object|executable'|cut -d: -f1|xargs ldd 2>/dev/null|grep -v '^$' |perl -pe 's/ *$/(.*)$/'|sort -u|grep "not found"|grep -v -E "PIC"
```

尚、libcrypto.so.1.0.0、libcrypto.so.0.9.7 の「Not Found」が表示される場合がありますが、過去に NV バージョン 10 以前で使用していたライブラリーのため問題はありません。



1-3. Windows x86 (32/64-bit) 版のインストール

ここでは、Windows 版 NetVault Backup サーバーのインストールについて説明します。

- 1 管理者アカウント (administrator) でログオンします。
- 2 インストール・ファイルのトライアルバージョンの入手は、弊社 Web サイトからダウンロード可能です

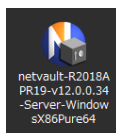
評価期限 30 日(期限を延長したい場合は弊社 SE にご相談ください)

<https://www.quest.com/jp-ja/registert/55545>

タイトル名	掲載日	バージョン	ダウンロード
NetVault Backup Server and Client Distribution for Windows (32/64-bit)	日付	評価版バージョン	↓
NetVault Backup Server Distribution for Linux x86 (Hybrid 32/64-bit Build)			↓
NetVault Backup Server Distribution for Linux x86 (Pure 64-bit Build)			↓
NetVault Backup Client Distribution for Linux x86 (Hybrid 32/64-bit Build)			↓
NetVault Backup Client Distribution for Linux x86 (Pure 64-bit Build)			↓

トライアルページから NetVault Backup を選択し、NetVault Backup Server and Client Distribution for Windows (32/64-bit) のダウンロードを行います。ダウンロードしたファイルは圧縮されていますので解凍します。

解凍したファイルが配置されているディレクトリに移動し、<netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Server-WindowsX86Pure64.exe>ファイルを実行します。

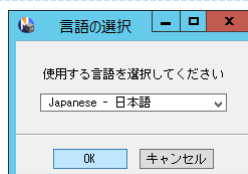


- 3 exe を実行すると右図画面のポップアップがでる場合があります。

ポップアップが出た場合は[実行]をクリックします。

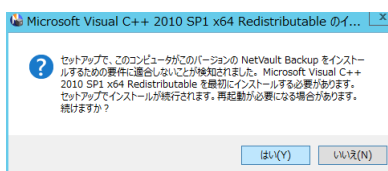


- 4 最初に言語の選択をします。[OK]をクリックします。

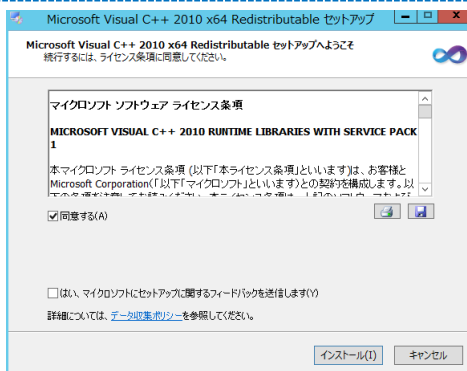


Quest
Join the Innovation.

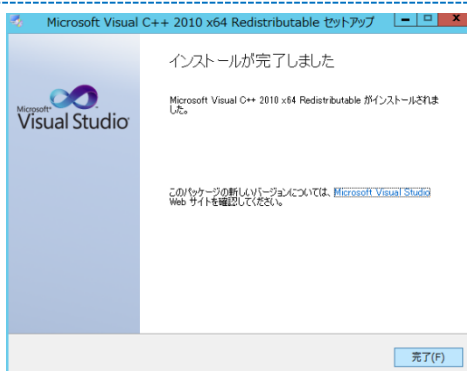
- 5 インストール要件チェックが行われ、右図画面がポップアップで出た場合は [はい]をクリックします。



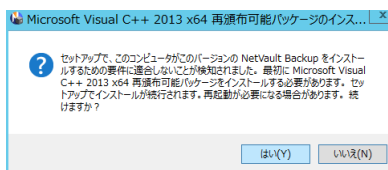
- 6 インストール要件となる Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable のセットアップ画面が出ますので、[同意する]にチェックして[インストール]をクリックします。



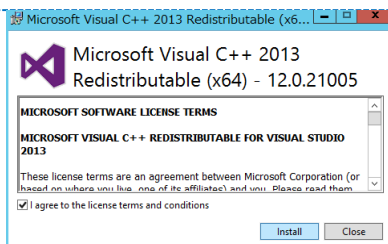
- 7 Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable のインストールが完了しましたら、[完了]をクリックします。



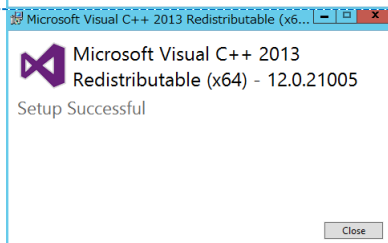
- 8 続いて、右図画面もポップアップで出た場合は [はい]をクリックします。



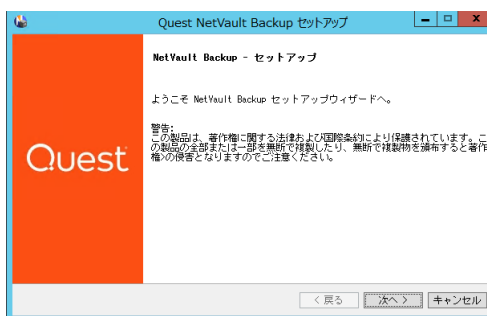
- 9 インストール要件となる Microsoft Visual C++ 2013 x64 Redistributable のセットアップ画面が出ますので、[I agree to the license terms and conditions]にチェックして[Install]をクリックします。



- 10 Microsoft Visual C++ 2013 x64 Redistributable のインストールが完了しましたら、[完了]をクリックします。



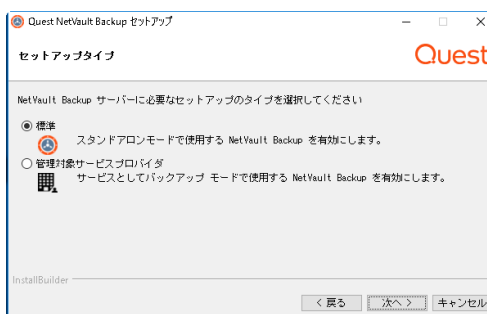
- 11 インストール・ウィザードが開始されます。このウィンドウに記載されている注意を良くよんでから[次へ]をクリックして次に進みます。



- 12 NetVault Backup サーバーに必要なセットアップタイプを選択します。

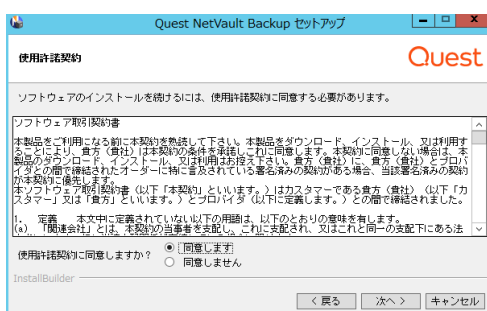
[標準] を選択して、
[次へ]ボタンをクリックして、次に進みます。

※ セットアップタイプの選択は NetVault Backup 12.1 以降で表示されます。

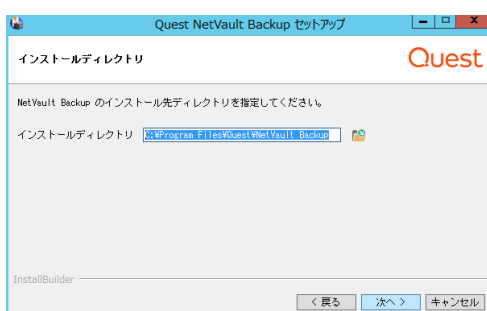


- 13 使用許諾情報を掲載したウィンドウが表示されます。

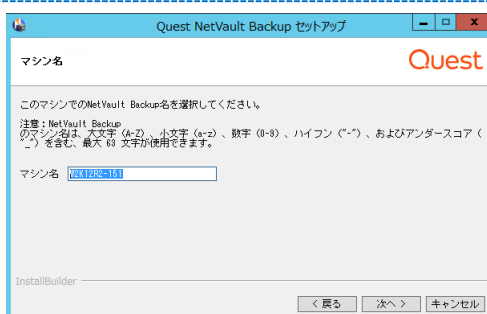
この情報を読んで、[同意します]を選択してから
[次へ]ボタンをクリックして、次に進みます。



- 14 使用許諾契約書に同意したら、次に[インストールディレクトリ]ウィンドウが表示されます。
NetVault Backup サーバーのファイルを格納する場合を指定し[次へ]をクリックします。

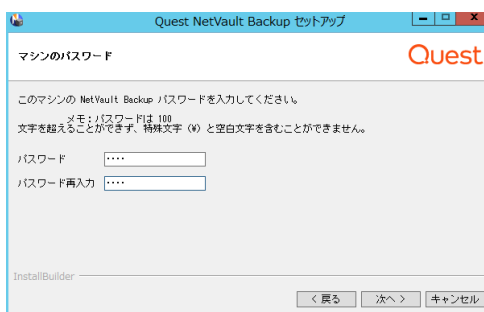


- 15 [マシン名]ウィンドウは、NetVault マシン名を入力するために使います。
必要であれば変更を加え[次へ]をクリックします。



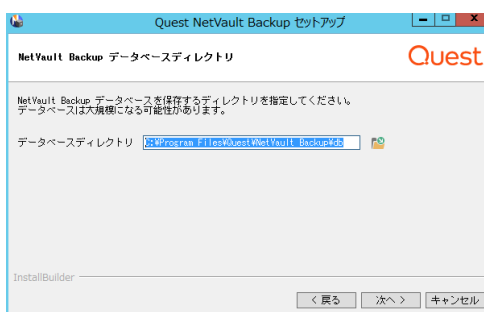
16 [マシンのパスワード]ウィンドウに移動します。

このウィンドウの[パスワード]フィールドにパスワードを入力します。
そして[パスワードの再入力]フィールドに最初に入力したものと完全に一致するパスワードを入力します。
[次へ]をクリックして、次に進みます。



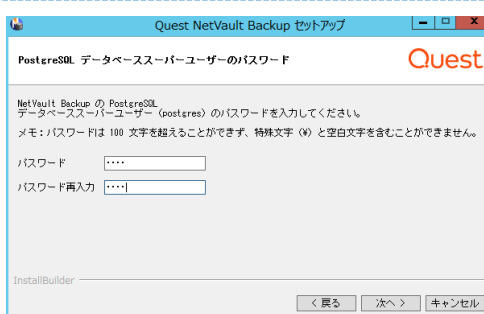
17 [NetVault Backup データベース・ディレクトリ]ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、NetVault データベースを格納するディレクトリ名を入力します。

[次へ]をクリックして、次に進みます。



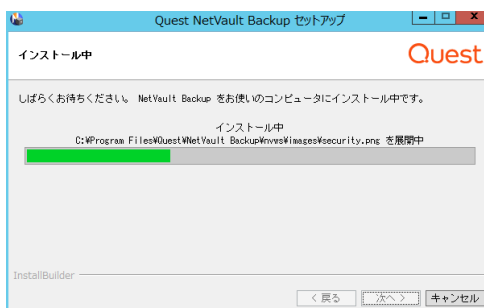
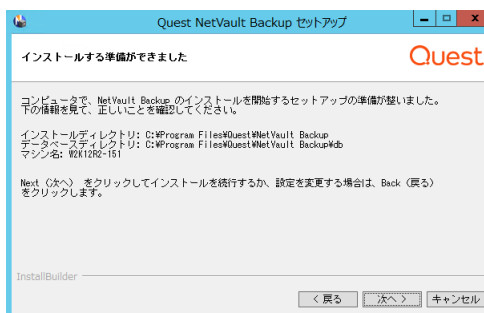
18 [PostgreSQL データベースのスーパーユーザーのパスワード] ウィンドウが表示されます。NetVault データベース用パスワードを設定します。

[パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
そして [パスワードの再入力] フィールドに最初に入力したものと完全に一致するパスワードを入力します。
[次へ] をクリックして、次に進みます。

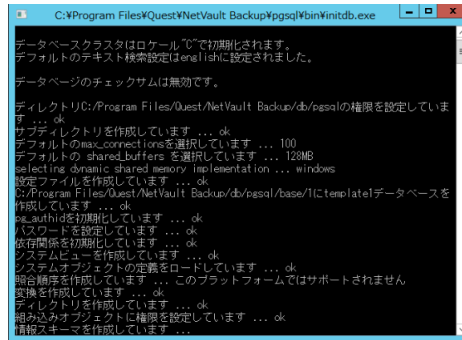


19 [インストールする準備ができました] ウィンドウが表示されます。

[次へ] を選択してインストールを開始します。



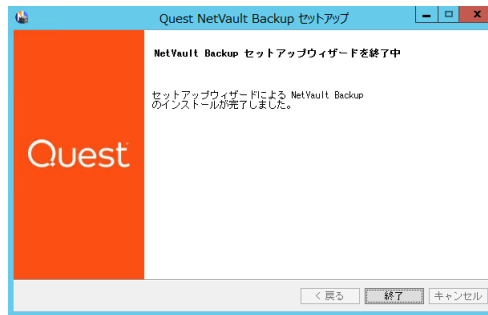
インストールの途中でコマンドプロンプトが現れます。



```
C:\Program Files\Quest\NetVault Backup\pgsql\bin\initdb.exe
データベースクラスターはローカルで初期化されます。
デフォルトのテキスト検索設定はenglishに設定されました。
データベースのチェックサムは無効です。
ディレクトリC:\Program Files\Quest\NetVault Backup\db\pgsqlの権限を設定しています。
... ok
サブディレクトリを作成しています ... ok
デフォルトのmax_connectionsを選択しています ... 100
デフォルトの shared_buffers を選択しています ... 128MB
selecting dynamic shared memory implementation ... windows
既定ファイルを作成しています ... ok
C:\Program Files\Quest\NetVault Backup\db\pgsql\base\1にtemplate1データベースを作成しています ... ok
pg_authidを初期化しています ... ok
パスワードを設定しています ... ok
依存関係を初期化しています ... ok
システムビューを作成しています ... ok
システムオブジェクトの定義をロードしています ... ok
集合順序を作成しています ... このプラットフォームではサポートされません
変換を作成しています ... ok
ディレクトリを作成しています ... ok
組み込みオブジェクトに権限を設定しています ... ok
情報スキーマを作成しています ...
```

20 NetVault インストールが終了しますと、[セットアップを終了中] ウィンドウが表示されます。

[終了] を選択して終了します。



第2章：クライアントのインストール

NetVault Backup クライアント(=1 台の NetVault Backup サーバーからバックアップ対象マシンとして管理されるマシン) には、NetVault Backup クライアント・モジュールをインストールします。インストールの方法は、「第 1 章：NetVault Backup サーバーのインストール」とほぼ同じです。

2-1. Linux x86(Pure64 または Hybrid)版のインストール

ここでは、Linux 版 NetVault Backup クライアントのインストールについて説明します。

1 管理者アカウント (root) でログインします。

2 インストール・ファイルのトライアルバージョンは、弊社 Web サイトからダウンロード可能です

評価期限 30 日(期限を延長したい場合は弊社 SE にご相談ください)

<https://www.quest.com/jp-ja/registert/55545>

3 Linux 版 NetVault Backup Client インストール・ファイルの実行

実行権限の付与を行います。

> **chmod +x** ./netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Client-LinuxX86Pure64

```
[root@rhel75-139 software]# ls -l
合計 35296
-rw-r--r-- 1 root root 36140711 10 月 24 16:32 netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Client-LinuxX86Pure64
[root@rhel75-139 software]# chmod +x netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Client-LinuxX86Pure64
[root@rhel75-139 software]# ls -l
合計 35296
-rwxr-xr-x 1 root root 36140711 10 月 24 16:32 netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Client-LinuxX86Pure64
```

4 インストールを実行します。

> ./netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Client-LinuxX86Pure64 **--mode text**

言語の選択を行います。

[5] Japanese - 日本語 (Default)を選択します。

```
[root@rhel75-139 software]# ./netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Client-LinuxX86Pure64
言語の選択

インストールする言語を選択してください
[1] English - English
[2] Simplified Chinese - 简体中文
[3] French - Francais
[4] German - Deutsch
[5] Japanese - 日本語
[6] Korean - 한국어
オプションを選択してください [5]:
```

5 NetVault Backup ソフトウェアの使用許諾契約の内容確認と同意
使用許諾契約の内容確認のために「Enter」キーを押し、「使用許諾契約に同意」が表示されるまで進めます。

ようこそ NetVault Backup セットアップウィザードへ。

警告:
この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製品の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると著作権>の侵害となりますのでご注意ください。

次の使用許諾契約をお読みください。ソフトウェアのインストールを続けるには、使用許諾契約に同意する必要があります。

続けるには [Enter] キーを押してください :

6 使用許諾契約に同意であれば「y」を選択し「Enter」キーを押します。

```
Rev 20170601.2
続けるには [Enter] キーを押してください :
使用許諾契約に同意しますか? [y/n]: y
```

Quest
Join the Innovation.

- 7** NetVault Backup インストール先ディレクトリを指定します。
デフォルト「/usr/netvault」で良ければ「Enter」キーを押します。

NetVault Backup のインストール先ディレクトリを指定してください。
インストールディレクトリ [/usr/netvault]:

- 8** NetVault Backup マシン名の指定
デフォルトのホスト名で良ければ「Enter」キーを押します。

このマシンでの NetVault Backup 名を選択してください。
注意: NetVault Backup のマシン名は、大文字 (A-Z)、小文字 (a-z)、数字 (0-9)、ハイフン (" - "), およびアンダースコア (" _ ") を含む、最大 63 文字が使用できます。
マシン名 [rhel75-139]:

- 9** NetVault Backup パスワードを指定します
さらに確認のためにパスワードを再入力し「Enter」キーを押します。

マシンのパスワード
このマシンの NetVault Backup パスワードを入力してください。
メモ: パスワードは 100 文字を超えることができず、特殊文字 (\) と空白文字を含むことができません。
パスワード:
パスワード再入力:

- 10** NetVault Backup Server インストール用入力内容の確認
インストール用入力内容が正しければ「Enter」キーを押します。

インストールする準備ができました
コンピュータで、NetVault Backup のインストールを開始するセットアップの準備が整いました。
下の情報を見て、正しいことを確認してください。
インストールディレクトリ: /usr/netvault
マシン名: rhel75-139
続けるには [Enter] キーを押してください :

- 11** NetVault Backup Client インストールと結果

しばらくお待ちください。NetVault Backup をお使いのコンピュータにインストール中です。

インストール中
0% _____ 50% _____ 100%

NetVault Backup ライブラリへのリンクの作成
NetVault Backup 設定のアップデート
プラグインのインストール audtl-12-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cli-12-0-0-18-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール con-12-0-0-3-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cpy-12-0-0-7-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール ddv-12-0-0-2-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール dvx-12-0-0-3-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール dvy-12-0-0-3-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール dvz-12-0-0-3-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール nty-12-0-0-0-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール nvf-12-0-0-12-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール raw-12-0-0-2-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール rda-12-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール rpt-12-0-0-0-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール snm-12-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール ver-12-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
NetVault Backup マシンパスワードの設定
NetVault Backup サービスのインストール
NetVault Backup サービスの開始
アンインストーラを作成中
#

セットアップウィザードによる NetVault Backup のインストールが完了しました。



12 NetVault Backup Client インストール後のデーモン動作の確認

```
> ps -ef | grep nv
```

で NetVault backup デーモンプロセスの確認

```
[root@rhel75-139 software]# ps -ef | grep nv
root 386 2 0 10 月 23 ? 00:00:00 [xfs-conv/dm-0]
root 549 2 0 10 月 23 ? 00:00:00 [xfs-conv/sda1]
root 666 1 0 10 月 23 ? 00:00:00 /usr/bin/abrt-watch-log -F BUG: WARNING: at WARNING: CPU: INFO:
possible recursive locking detected ermel BUG at list_del corruption list_add corruption do_IRQ: stack overflow: ear
stack overflow (cur: eneral protection fault nable to handle kernel ouble fault: RTNL: assertion failed eek!
page_mapcount(page) went negative! adness at NETDEV WATCHDOG ysctl table check failed : nobody cared IRQ
handler type mismatch Kernel panic - not syncing: Machine Check Exception: Machine check events logged divide
error: bounds: coprocessor segment overrun: invalid TSS: segment not present: invalid opcode: alignment check:
stack segment: fpu exception: simd exception: iret exception: /var/log/messages -- /usr/bin/abrt-dump-oops -xD
root 1692 1134 0 10 月 23 ? 00:00:00 gdm-session-worker [pam/gdm-launch-environment]
root 18992 1 0 17:03 pts/1 00:00:00 /usr/netvault/bin/nvpmgr
root 18994 18992 0 17:03 pts/1 00:00:00 nvcmgr 2
root 18998 18992 0 17:03 pts/1 00:00:00 nvnmgr 3
root 18999 18992 0 17:03 pts/1 00:00:00 nvstatsmgr 9
root 19026 18992 0 17:03 pts/1 00:00:00 nvconsolesvc 15
root 19033 18992 0 17:03 pts/1 00:00:00 nvwpview 18
root 19057 18757 0 17:05 pts/1 00:00:00 grep --color=auto nv
```

13 NetVault Backup Client インストール後処理で不足依存ファイルの

確認

```
> cd /usr/netvault
```

```
> find ./ | grep -v -E
```

```
"pgAdmin3|stackbuilder|postgresql|lib/libssl|replaced/"|
xargs file|egrep 'shared object|executable'|cut -d: -
f1|xargs ldd 2>/dev/null|egrep -v '^$.'|perl -pe 's/
*$$(.*$//)|sort -u|grep "not found"|grep -v -E "PIC"
```

```
[root@rhel75-139 software]# cd /usr/netvault
[root@rhel75-139 netvault]# find ./|grep -v -E "pgAdmin3|stackbuilder|postgresql|lib/libssl|replaced/"|xargs
file|egrep 'shared object|executable'|cut -d: -f1|xargs ldd 2>/dev/null|egrep -v '^$.'|perl -pe 's/
*$$(.*$//)|sort -u|grep "not found"|grep -v -E "PIC"
```

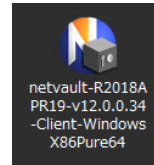
尚、libcrypto.so.1.0.0、libcrypto.so.0.9.7 の「Not Found」が表示される場合がありますが、過去に NV バージョン 10 以前で使用していたライブラリーのため問題はありません。

2-2 Windows x86(32/64-bit)版のインストール

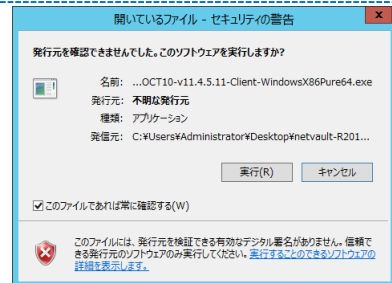
ここでは、Windows 版 NetVault Backup クライアントのインストールについて説明します。

- 1 管理者アカウント (administrator) でログオンします。
- 2 インストール・ファイルのトライアルバージョンの入手は、弊社 Web サイトからダウンロード可能です
トライアルページから NetVault Backup を選択し、NetVault Backup Server and Client Distribution for Windows (32/64-bit)のダウンロードを行います。
ダウンロードしたファイルは圧縮されていますので解凍します。解凍したファイルが配置されているディレクトリに移動し、
<netvault-R2018APR19-v12.0.0.34-Client-WindowsX86Pure64.exe> ファイルを実行します。

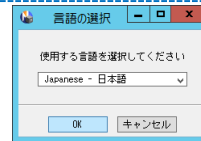
<https://www.quest.com/jp-ja/registert/55545>



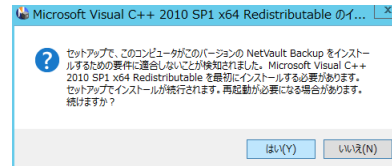
- 3 exe を実行すると右図画面のポップアップが表示される場合があります。
ポップアップで出た場合は[実行]をクリックします。



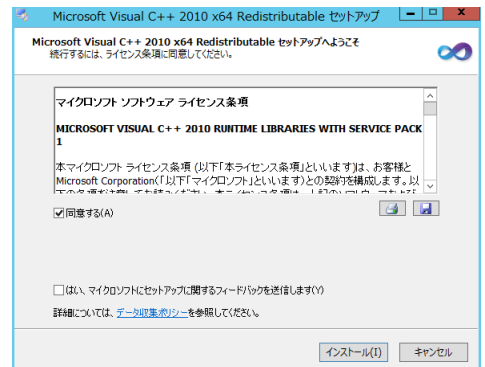
- 4 最初に言語の選択をします。[OK]をクリックします。



- 5 インストール要件チェックが行われ、右図画面のポップアップで出た場合は [はい]をクリックします。

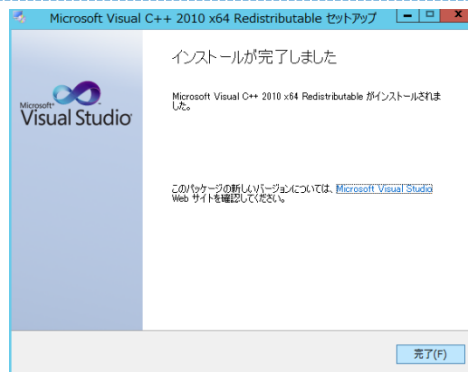


- 6 インストール要件となる Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable のセットアップ画面が出ますので、[同意する]にチェックして[インストール]をクリックします。

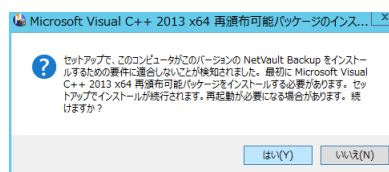


Quest
Join the Innovation.

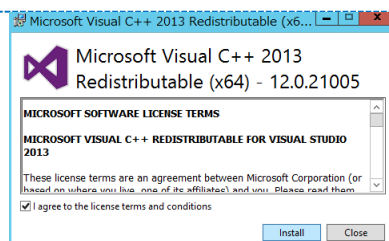
- 7 Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable のインストールが完了しましたら、[完了]をクリックします。



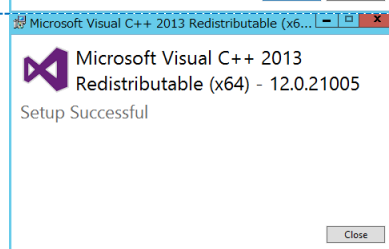
- 8 続いて、右図画面もポップアップで出た場合は [はい]をクリックします。



- 9 インストール要件となる Microsoft Visual C++ 2013 x64 Redistributable のセットアップ画面が出ますので、[I agree to the license terms and conditions]にチェックして[Install]をクリックします。

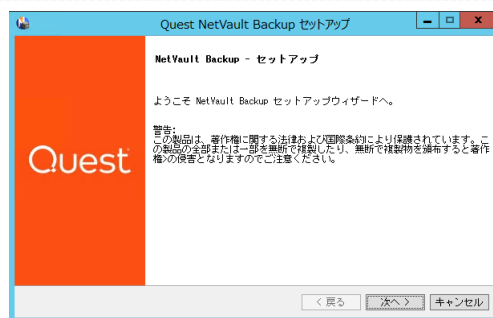


- 10 Microsoft Visual C++ 2013 x64 Redistributable のインストールが完了しましたら、[完了]をクリックします。



- 11 インストール・ウィザードが開始されます。

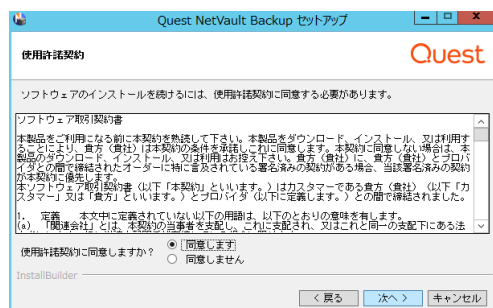
このウィンドウに記載されている注意を良くよんでから[次へ]をクリックして次に進みます。



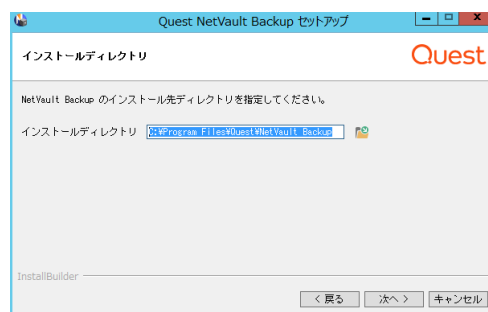
- 12 使用許諾情報を掲載したウィンドウが表示されます。

この情報を読んで、[同意します]を選択してから[次へ]ボタンをクリックして、次に進みます。

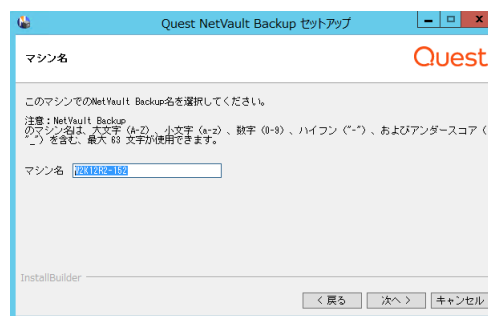
[同意します]を選択しないと、次に進めません。



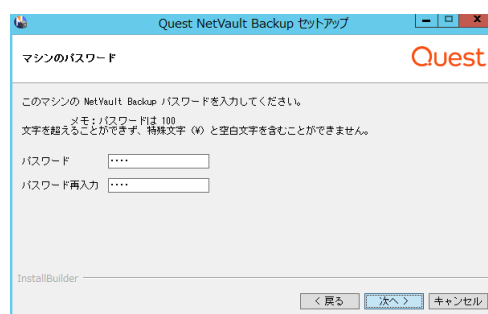
- 13 使用許諾契約書に同意したら、次に[インストールディレクトリ]ウィンドウが表示されます。
NetVault Backup サーバーのファイルを格納する場合を指定し[次へ]をクリックします。



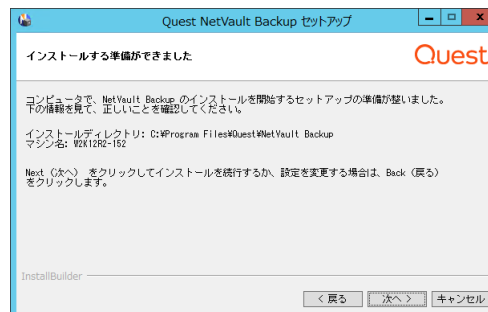
- 14 [マシン名]ウィンドウは、NetVault マシン名を入力するために使用します。
必要であれば変更を加え[次へ]をクリックします。



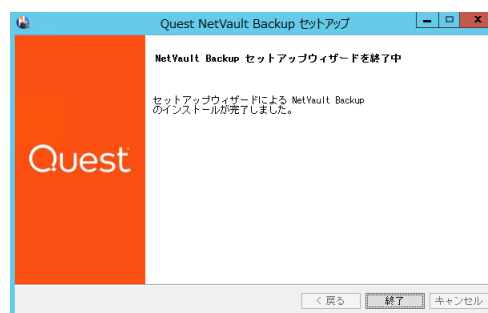
- 15 [マシンのパスワードの選択]ウィンドウに移動します。
このウィンドウの[パスワード]フィールドにパスワードを入力します。
そして[パスワードの再入力]フィールドに最初に入力したものと完全に一致するパスワードを入力します。
[次へ]をクリックして、次に進みます。



- 16 [インストールの確認] ウィンドウが表示されます。
[次へ] を選択してインストールを開始します。



- 17 NetVault インストールが終了しますと、[インストールの完了] ウィンドウが表示されます。
[閉じる] を選択して終了します。



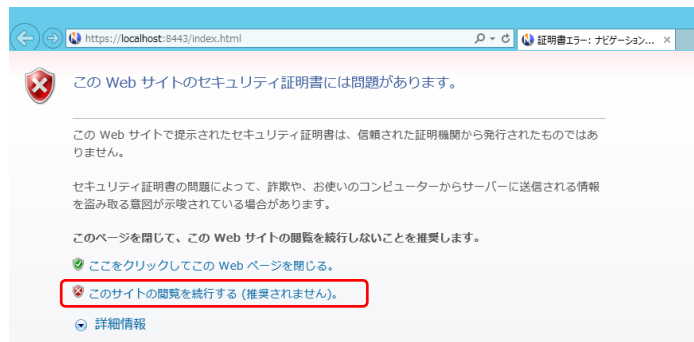
第3章 : NetVault Backup Console を起動する

NetVault Backup サーバー自身もしくは NetVault Backup サーバーのポート 8443 にアクセスできるマシンのウェブ・ブラウザを使用して NetVault Backup Server Console を起動します。サポートされているブラウザは、インストール要件の「**ブラウザ**」を参照ください。

- 1 NetVault Backup Server のインストールが完了すると右図のようなアイコンが作成されます。
※この場合は windows Server を例に記載しております。



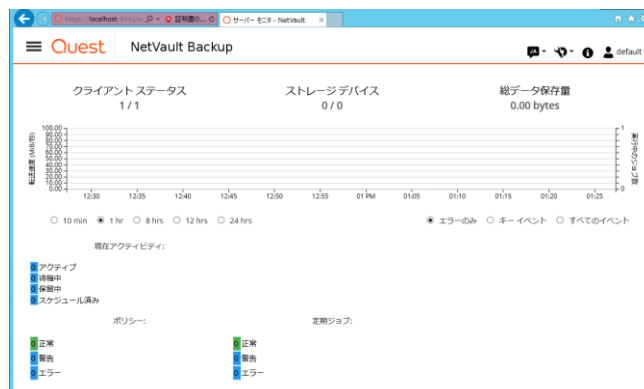
- 2 アイコンを起動すると右図のような画面が起動します。
[このサイトの閲覧を続行する]をクリックして継続すると NetVault Backup Server のログイン画面が表示されます。



- 3 NetVault Console が無事ブラウザに表示されると、NVBU ユーザとパスワードを入力するポップアップが表示されます。
ユーザ名 : **default**
パスワードは無し(空白のまま)
で [サインイン] をクリックします。

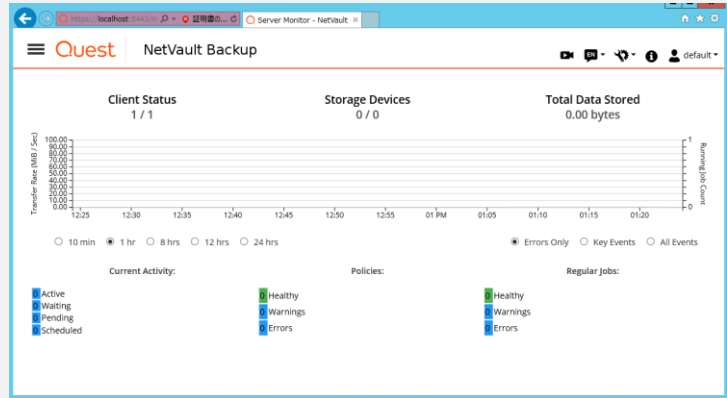


NetVault Console が表示されます。

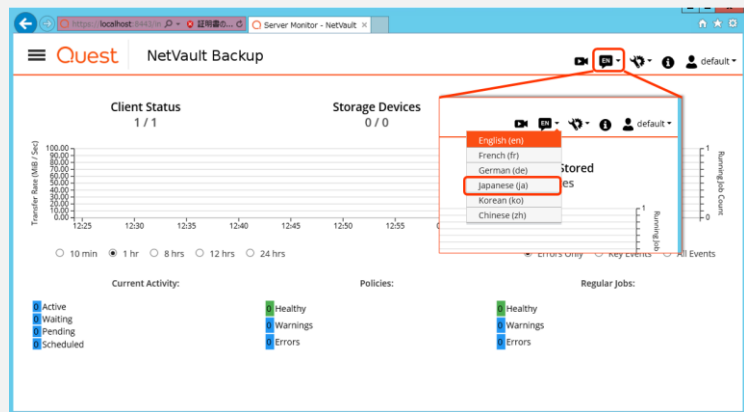


Memo 1

初めてのログイン時、NetVault Console が英語表記されている場合があります。



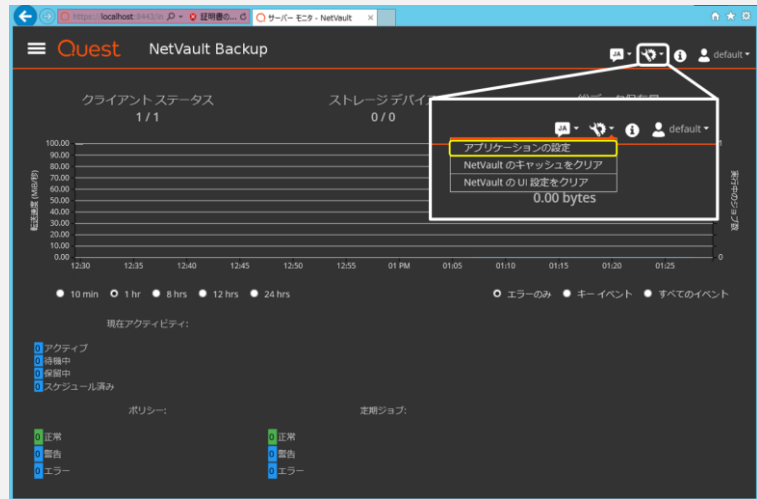
右上の吹き出しアイコンをドリルダウンして言語設定を表示させ「Japanese(ja)」を選択すると日本語表記に変更されません。



Memo 2

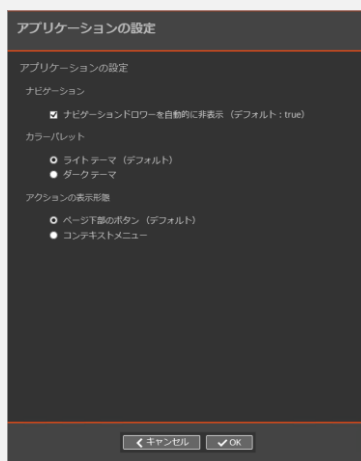
NetVault Console の背景色が黒色で表示される場合があります。

右上の歯車アイコンをドリルダウンして「アプリケーションの設定」を表示することにより、お好みのテーマ（背景色）に変更することができます。



アプリケーションの設定のカラーパレットを[ダークテーマ]から[ライトテーマ]に変更し、[OK] をクリックすると白を基調とする背景色に変更されます。

ナビゲーションの[ナビゲーションドローワーを自動的に非表示]は左サイドメニューを自動で非表示させる機能です。



第4章 : NetVault Backup クライアントを NetVault Backup サーバーに追加する

1 台の NetVault Backup サーバーで、複数の NetVault Backup クライアントのバックアップ/リストアをまとめて行うには、下記手順に従ってバックアップ対象とする NetVault Backup クライアントを NetVault Backup サーバーに追加する作業が必要になります。

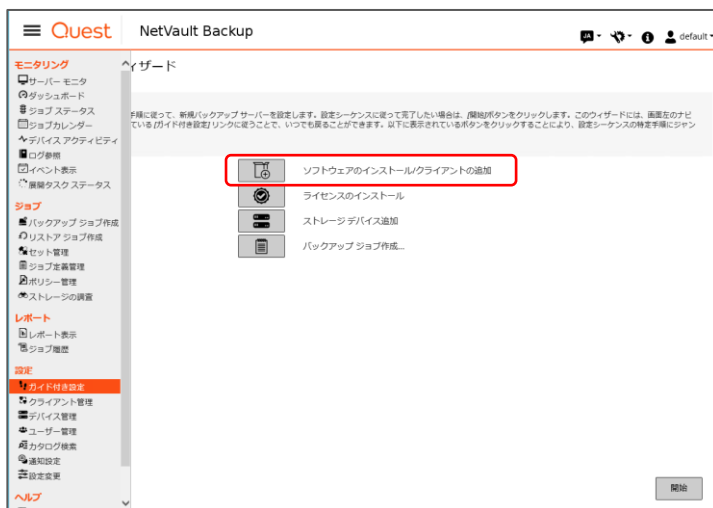
4-1. NetVault Backup クライアントを追加する

ここでは、NetVault Backup クライアントの NetVault Backup サーバーへの追加について説明します。

1 「第3章 : NVBU Console を起動する」に従い、NetVault Backup サーバー側で NVBU Console を起動します。

2 画面左上にある三本線アイコンをクリックすると左サイドメニューが表示されますのでメニュー項目から「ガイド付き設定」を選択します。

表示された NetVault 設定ウィザード画面で、「ソフトウェアのインストール / クライアント追加」をクリックします。

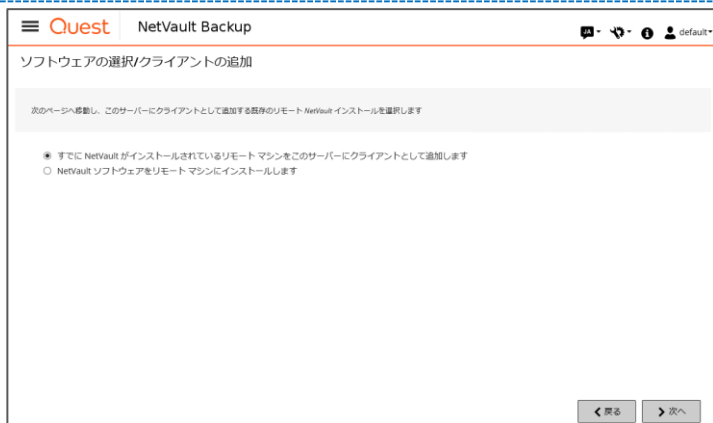


3 NetVault 11.x 以降ではクライアントへのプッシュインストールが可能となっています。

既に Agent がインストールされているクライアントに対して、設定する場合を以下に示します。

「すでに NetVault がインストールされているリモートマシンをこのサーバーにクライアントとして追加します」を選択し「次へ」を実行します。

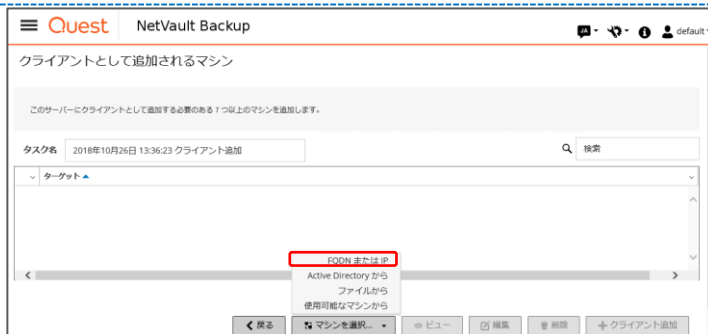
※プッシュインストールを実施する場合は、「Quest NetVault Backup インストールガイド」を参照ください。



4 クライアントとして追加されるマシン 画面からクライアントを追加します。

画面下の「マシンを選択」からクライアントの情報で知れる内容を選択します。

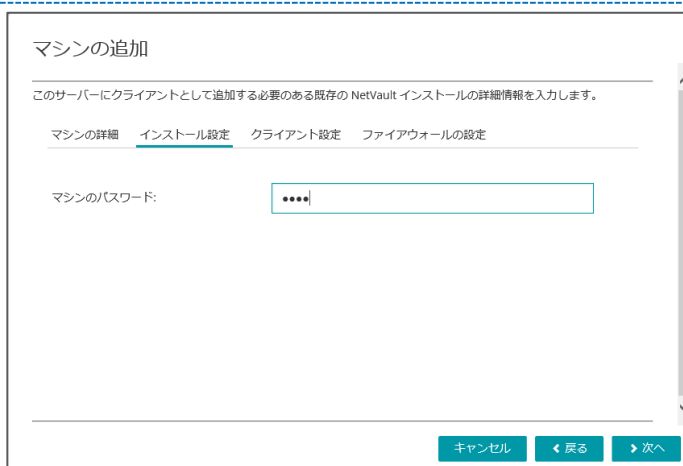
今回は「FQDN または IP」を選択します。



5 マシンの追加 画面から FQDN もしくは IP アドレスを入力します。



6 クライアントと通信ができると「マシンのパスワード」を聞いてくる画面に移動しますので、クライアントの管理者のパスワードを入力します。



7 パスワードが認証できましたら、クライアント詳細にそのクライアントが識別できるような任意の文字列を入力します。

(例) Oracle Server 01

また所属するクライアントグループを選択します。
クライアントグループを作成していない場合は、右図のように [Default] が選択されます。

8 ファイアウォールの設定画面では、ファイアウォール越しではない場合は、未記入のまま [OK] をクリックします。

ファイアウォール越しの場合は、NetVault が各種通信に使用するポート項目について使用可能なポート番号の範囲を入力します。

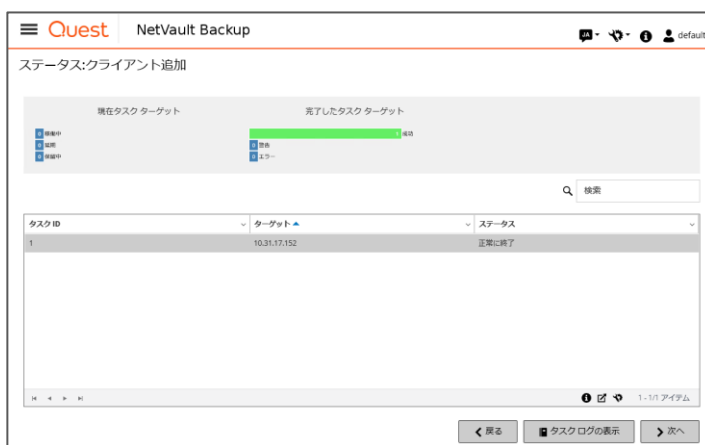
各項目については、「Quest NetVault Backup インストレーション・ガイド」を参照ください。

9 すべてが完了しますと右図のようにターゲットに IP アドレスが表記されます。

クライアントを追加する準備ができましたので、[クライアントの追加] をクリックします。

10 追加が完了すると右図のようにステータスが「正常に終了」となります。

[次へ]を選択するとさらにクライアントを追加することが可能となります。



11 追加クライアントがない場合はこの画面で終了となります。



第5章：バックアップ装置の設定を行う

5-1. 仮想テープライブラリを使用する

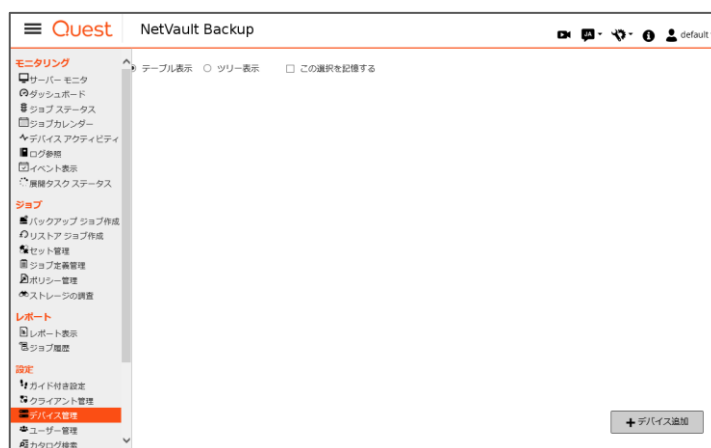
ここでは、仮想テープライブラリの作成と NetVault Backup サーバーへの追加について説明します。

最新の NetVault 対応単体ドライブ・VTL・テープライブラリリストは下記からご覧いただけます。

<https://support.quest.com/ja-jp/netvault-backup/12.0/technical-documents>

(NetVault Backup - Supported VTLs, Libraries, Tape and Optical Drives 参照)

- 1 起動した NVBU Console から [デバイス管理] をクリックし、デバイス管理画面が表示された後、[+デバイス追加] をクリックします。



- 2 NetVault ストレージ設定ウィザード - ストレージ デバイスの追加画面が表示されます。

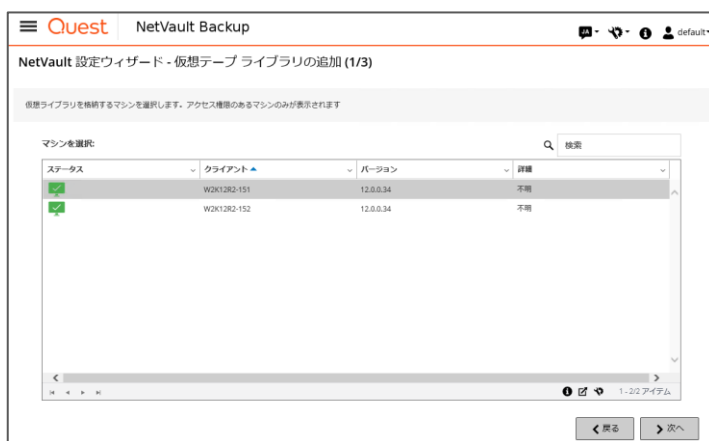
[仮想テープ ライブラリ/メディアチェンジ] を選択し、[次へ] をクリックします。



3 NetVault 設定ウィザード - 仮想テープライブラリの追加 (1/3)画面が表示されます。

仮想テープライブラリを作成するクライアントを選択し、
[次へ] をクリックします。

画面では NetVault Server を選択して VTL を作成します。



4 NetVault 設定ウィザード - 仮想テープ ライブラリの追加 (2/3)画面が表示されます。仮想テープ ライブラリ作成パラメータを入力します。入力後、[次へ] をクリックします。

● 新規デバイスを作成するディスク上の位置を選択：

(必須) ライブラリを作成するパスを指定します。

(例: /opt, C:\VTL)

● デバイス名を選択：(必須)：

作成したいライブラリの名前を記載します。(例: VTL)

● 5文字のメディア バーコード プリフィックスを選択：

任意のメディア バーコードとして初めの5桁目の指定が行えます。
ランダムなデフォルト値が設定されています。

● メディア容量指定 (GiB 単位)：(必須)

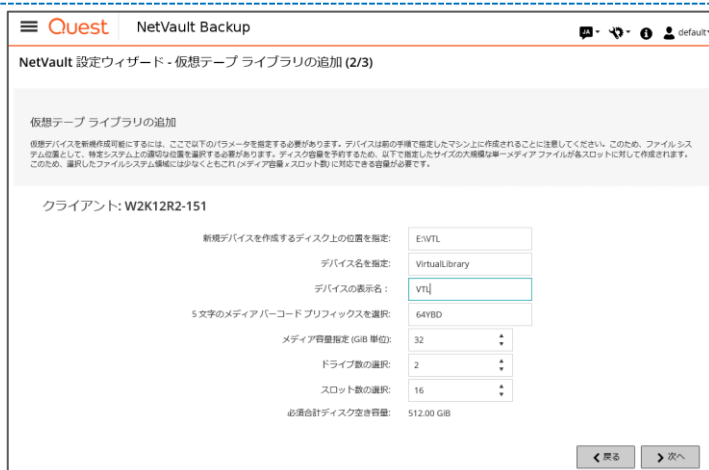
仮想メディア 1本あたりの容量を設定します。整数のみ入力可。
デフォルト値は 32 です。

● ドライブ数の選択：(必須)

ライブラリに搭載するドライブ数を入力します。デフォルト値は 2。

● スロット数の選択：(必須)

ライブラリに搭載するスロット数を入力します。デフォルト値は 16。



仮想テープライブラリの作成の為に、最終的に使用されるディスク容量は Web GUI 下部にある、「必須合計ディスク空き容量」に表示されますので、作成先ディスクの空き容量の範囲内に収まるようご注意ください。計算方法は、メディア容量 x スロット数 となります。

仮想テープライブラリが作成されます。

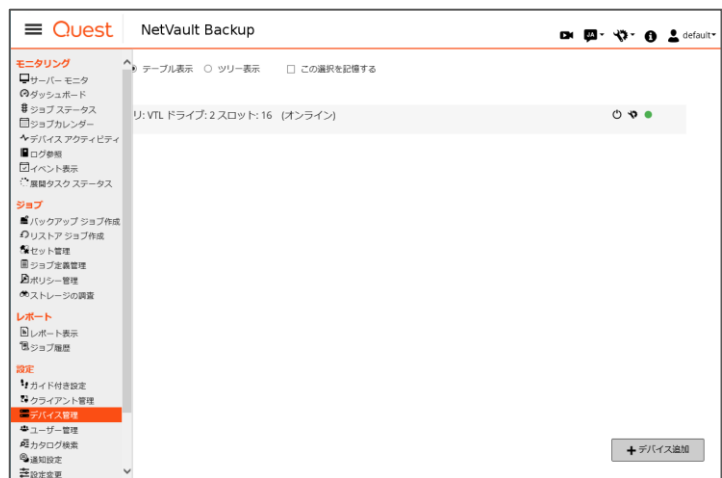
デバイスを追加しない場合はこの画面で終了となります。



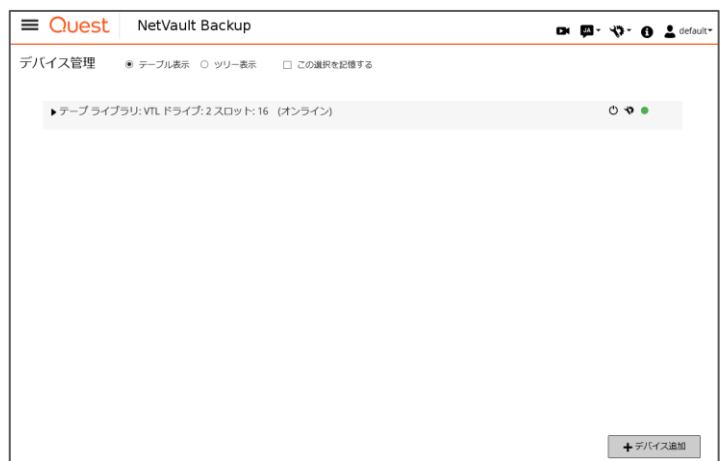
5 [デバイス管理] を再度クリックし、デバイス管理画面に移行すると追加したオートローダ/ライブラリが

テープ ライブラリ: <NetVault マシン名>: <仮想ライブラリへのパス> ドライブ: # スロット: #

と表示されます。



[▶] をクリックすると、追加された仮想ライブラリの詳細情報が表示されます。



Quest NetVault Backup

デバイス管理

▼ テープライブラリ: VTL ドライブ: 2 スロット: 16 (オンライン)

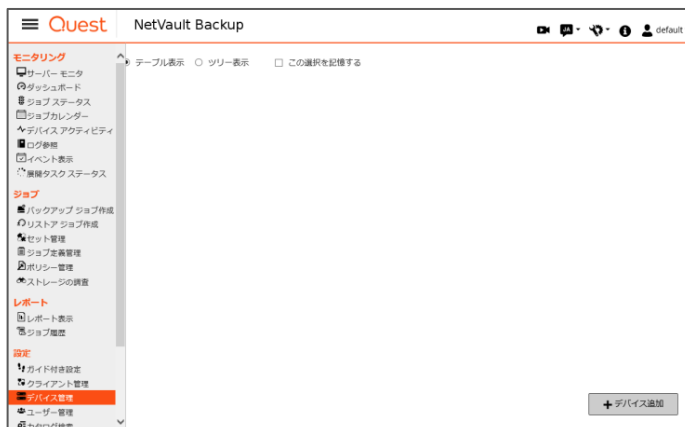
DRIVE 1	E:\VTL\VirtualLibrary\drives1	W2K12R2-151	オンライン	(アイドル)	アンロード済み
DRIVE 2	E:\VTL\VirtualLibrary\drives2	W2K12R2-151	オンライン	(アイドル)	アンロード済み
スロット	合計: 16 (16 入力済み, 0 空), 16 ブランク				

+ デバイス追加

5-2. オートローダ/テープ ライブラリを使用する

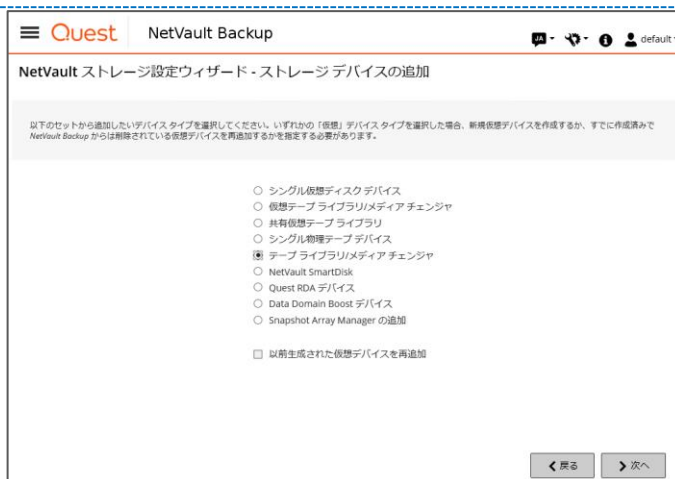
ここでは、オートローダ/テープ ライブラリの NetVault Backup サーバーへの追加について説明します。

- 1 起動した NVBU Console から [デバイス管理] をクリックし、デバイス管理画面が表示された後、[+デバイス追加] をクリックします。



- 2 NetVault ストレージ設定ウィザード - ストレージ デバイスの追加画面が表示されます。

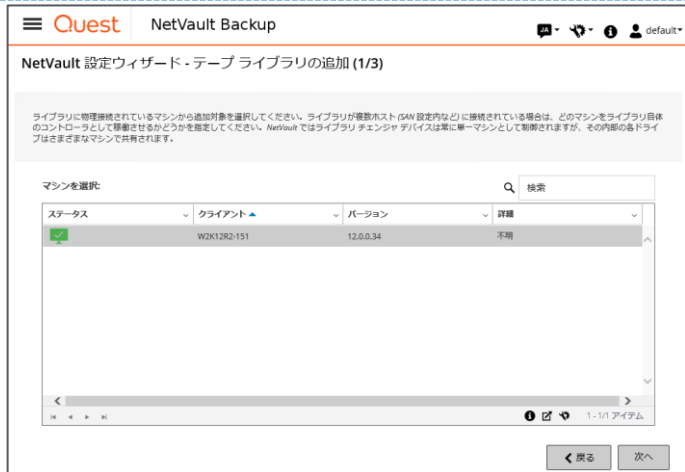
[仮想テープ ライブラリ/メディアチェンジ] を選択し、[次へ] をクリックします。



3 NetVault 設定ウィザード - テープライブラリの追加 (1/3)
画面が表示されます。

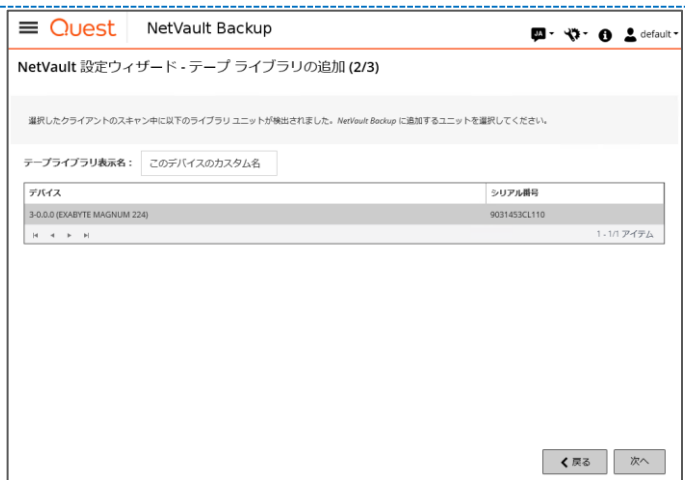
テープライブラリを追加するクライアントを選択し、
[次へ] をクリックします。

画面では NetVault Server を選択してテープライブラリを追加
します。



4 NetVault 設定ウィザード - テープ ライブラリの追加 (2/3)
画面が表示されます。

対象クライアントに接続されているテープライブラリのリストが表示
されます。入力後、[次へ] をクリックします。
追加対象のテープライブラリを選択し、[次へ] をクリックします。



追加されるテープライブラリの情報が表示されます。
下記にある [デバイスをさらに追加...] または [バックアップジョ
ブ作成...] のどちらかをクリックします。

もし、テープライブラリの情報が表示されない場合、**5** へ進み
ます。



[情報 ライブラリが正常に追加されました] のメッセージが表示
されます。これでオートローダ/ライブラリの追加は完了です。

5

4 でドライブの自動設定が行われた場合、7 へ進みます。

[ドライブを手動で追加...]をクリックします。



6

(1) 「NetVault 設定ウィザード - テープ ライブラリ ドライブのベイへの追加」画面が表示されます。

テープライブラリを追加するクライアントを選択し、[次へ] をクリックします。

画面では NetVault Server を選択してテープライブラリを追加します。



(2) ライブラリのベイ1に搭載されたドライブをデバイス名とシリアル番号が表示されますので、選択し [次へ] をクリックします。



(3) この画面では追加対象ドライブが複数のクライアントに共有接続されて、共有ドライブとしたい場合、リストされたクライアントを選択し、[次へ] をクリックしてください。

共有ドライブとしない、もしくは無い場合、何もせず [次へ] をクリックしてください。



ライブラリに複数のベイがある場合、次のベイに対してドライブを追加します。上記、(1)～(3)を繰り返してください。

複数のベイが無い場合、もしくは、すべてのベイの設定が終了した場合、次の画面が表示されます。

「以下のテープ ライブラリがフル設定され NetVault Backup に追加されました:」というメッセージが表示されれば、オートローダ/ライブラリの追加の完了です。



7 「デバイス管理」を再度クリックし、デバイス管理画面に移行すると追加したオートローダ/ライブラリが

テープ ライブラリ: <NetVault マシン名>: <ライブラリ名> ドライブ: # スロット: # ポート: #

と表示されます。

「▶」をクリックすると、追加された仮想ライブラリの詳細情報が表示されます。



第6章：バックアップ・リストアを行う

6-1. バックアップジョブを作成する

ここでは、ファイルシステムプラグインのバックアップジョブについて説明します。

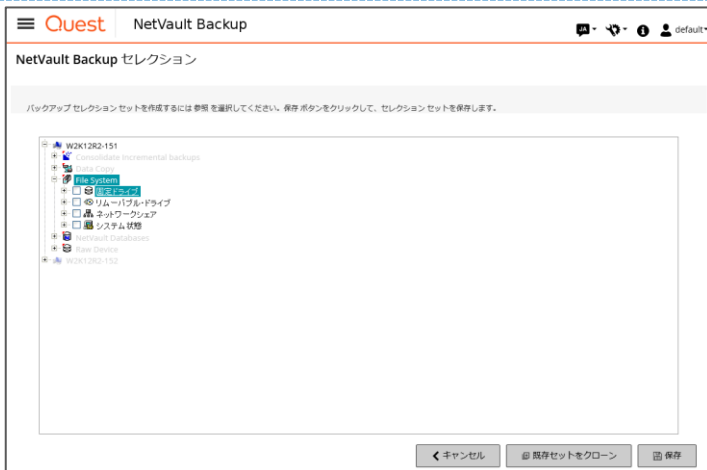
- 1 メイン画面の [バックアップ ジョブ作成] をクリックすると、バックアップジョブ作成画面が表示されます。

- ジョブ名： バックアップ ジョブの名前を入力します。
- セクション： バックアップ対象を定義したものをセクション セットと呼びます。このセクション セットを新規作成または既存セットを指定します。
- プラグイン オプション： バックアップに使用する NetVault Backup のプラグインのオプション選択を定義したものをプラグイン オプション セットと呼びます。このプラグイン オプション セットを新規作成または既存セットを指定します。
- スケジュール： スケジュール設定を定義したものをスケジュール セットと呼びます。ここではスケジュール セットを新規作成または既存のセットを指定します。
- ターゲット ストレージ： バックアップ先となるターゲット ストレージ設定を定義したものをターゲット セットと呼びます。ここではターゲット セットを新規作成または既存のセットを指定します。
- 詳細設定： 世代管理、セカンダリ コピー作成、スクリプト実行やその他のオプションを設定したものを詳細設定セットとよびます。ここでは詳細設定セットを新規作成または既存セットを指定します。

- 2 セクションの [新規作成] をクリックします。

3 バックアップ対象のデータが存在するクライアントをダブルクリックします。そのクライアントにインストールされたプラグインが表示されます。

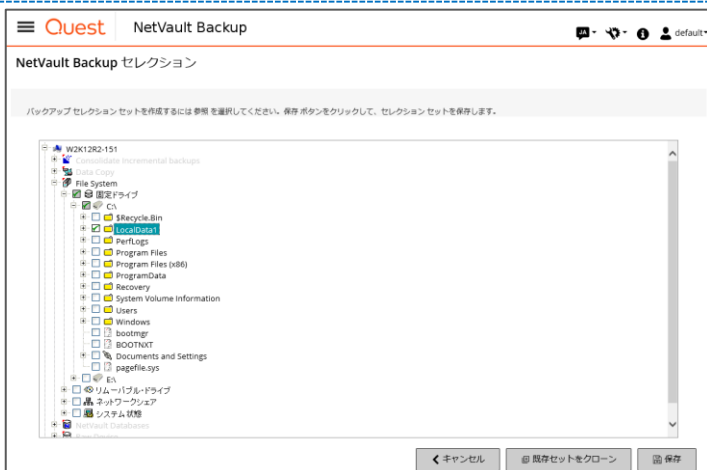
本ガイドでは、File System プラグインでのバックアップについて説明します。



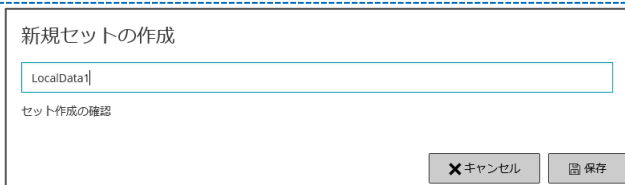
4 バックアップに使用するプラグインをダブルクリックすると、バックアップ対象として選択されるデータが表示されます。

+のあるアイコンをダブルクリックしていくと、内容が展開されますので、バックアップ対象データが表示されましたら、にチェックして選択します。

バックアップ対象データを選択し終わったら、画面下部にある [保存] をクリックします。



5 新規セットの作成ポップアップ画面が表示されます。セットの名前を入力して [保存] をクリックします。セットの名前は他のセットと混同しない一意の名前を推奨します。バックアップ ジョブ作成画面に戻ります。セレクションの項目に新規作成されたセットが指定されているのを確認します。



6 セレクションで選択したプラグインのバックアップオプションを設定するために、プラグイン オプションの [新規作成] をクリックします。プラグインによって表示される設定項目は異なります。



7 ファイルレベルバックアップ（FileSystem Plugin）のバックアップオプションが表示されます。

バックアップ方式：標準 / VSS

バックアップタイプ：フル / 増分 / 差分

バックアップオプション：アーカイブビットを無視

/ 切り捨てられたファイルは無視

/ バックアップ中に変更されたファイルを確認

/ マウントポイントを使用してバックアップ

/ 再開できるバックアップを有効化

/ バックアップ中にマルチストリームを利用する

バックアップ・ログのパス []

上記オプションをそれぞれ選択します。[保存] をクリックします。

File System プラグインバックアップ・オプション

File System プラグインバックアップ・オプション

バックアップ方法

標準
 Volume Shadow Copy Service (VSS)

バックアップ・タイプ

フル
 増分
 差分

ダンプ・タイプ・バックアップの作成

バックアップ・オプション

アーカイブ・ビットを無視
 切り捨てられたファイルは無視
 バックアップ中に変更されたファイルを確認
 マウント・ポイントを使用してバックアップ
 再開できるバックアップを有効化
 バックアップ中にマルチストリームを利用する

バックアップ・ログのパス

8 新規セットの作成ポップアップ画面が表示されます。セットの名前を入力して [保存] をクリックします。

セットの名前は他のセットと混同しない一意の名前を推奨します。

バックアップ ジョブ作成画面に戻ります。

プラグイン オプションの項目に新規作成されたセットが指定されているのを確認します。

新規セットの作成

セット作成の確認

9 バックアップジョブ作成画面で、スケジュールの [新規作成] をクリックします。

スケジュール:

10 スケジュールタイプを選択します。

タイプによりスケジュールオプションの設定項目の表示が変わります。

- 即時
- 1 回のみ
- 繰り返し
- トリガ

選択したら「保存」を押してスケジュールを確定してください。

スケジュール

このページでさまざまなオプションを選択して、ジョブにスケジュールセットを作成/編集します。

スケジュール タイプ

スケジュール オプション

即時タイプ用のオプションがありません

ジョブ オプション

ジョブのトリガ
リトライ間隔 01:00 時分

ジョブ優先順位 30 1 = 最高、100 = 最低

1 回のみを選択した場合；

開始時間/日付

を指定します。

スケジュール方法：

特定日 / 特定曜日 / 特定日付 / 指定日

を選択します。

スケジュール

このページでさまざまなオプションを選択して、ジョブにスケジュールセットを作成/編集します。

スケジュールタイプ: 即時, **1回のみ**, 繰り返し, トリガ

スケジュールオプション

開始時刻: 16:29, 開始: 2018/10/26

スケジュール方法: **特定日**, 特定曜日, 特定日付, 指定日

ジョブオプション

ジョブのリトライ: リトライ回数: 1, リトライ間隔: 01:00 時:分

ジョブ優先順位: 30, 1 = 最高, 100 = 最低

戻る, 既定セットをクローン, 保存

繰り返しを選択した場合；

開始時間/日付

を指定します。

スケジュール方法：毎日 / 特定曜日 / 特定日付 / 毎

を選択します。

スケジュール

このページでさまざまなオプションを選択して、ジョブにスケジュールセットを作成/編集します。

スケジュールタイプ: 即時, 1回のみ, **繰り返し**, トリガ

スケジュールオプション

開始時刻: 16:29, 開始: 2018/10/26

スケジュール方法: **毎日**, 特定曜日, 特定日付, 毎

ジョブオプション

ジョブのリトライ: リトライ回数: 1, リトライ間隔: 01:00 時:分

ジョブ優先順位: 30, 1 = 最高, 100 = 最低

戻る, 既定セットをクローン, 保存

例) 毎週土曜にフルバックアップ、月曜から金曜に増分バックアップ

を行う場合、フルバックアップジョブのスケジュールは、

スケジュール方法：特定曜日

オプション：日：土曜日

スケジュールタイプ: 即時, 1回のみ, **繰り返し**, トリガ

スケジュールオプション

開始時刻: 23:50, 開始: 2017/12/09

スケジュール方法: 毎日, **特定曜日**, 特定日付, 毎

オプション

日: 日曜日, 月曜日, 火曜日, 水曜日, 木曜日, 金曜日, **土曜日**, 最初

週: 2番目, 3番目, 4番目, 最後

増分バックアップジョブのスケジュールは

スケジュール方法：特定曜日

オプション：日：

月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日

のように設定します

スケジュールタイプ: 即時, 1回のみ, **繰り返し**, トリガ

スケジュールオプション

開始時刻: 23:50, 開始: 2017/12/11

スケジュール方法: 毎日, **特定曜日**, 特定日付, 毎

オプション

日: 日曜日, **月曜日**, **火曜日**, **水曜日**, **木曜日**, **金曜日**, 土曜日, 最初

週: 2番目, 3番目, 4番目, 最後

トリガを選択した場合：

トリガ名を指定します。

※メモ：トリガ名を設定したジョブは、NetVaultBackup の CLI

nvtrigger トリガ名

で外部のスケジューラから起動させることが可能です。

11 新規セットの作成ポップアップ画面が表示されます。

セットの名前を入力して【保存】をクリックします。

セットの名前は他のセットと混同しない一意の名前を推奨します。

バックアップ ジョブ作成画面に戻ります。スケジュールの項目に新規

作成されたセットが指定されているのを確認します。

12 バックアップ先のデバイスを設定するために、

ターゲット ストレージの【新規作成】をクリックします。

13 バックアップターゲット画面にて選択項目は以下になります。

- デバイスセレクション
- メディアオプション
- メディア共有

14 デバイス セレクション画面でデバイスを選択し「設定」をクリック、新規セットの作成画面でセット名を入力し「保存」をクリックします。バックアップ設計によってはドライブの利用制限等もある場合に有効に利用できます。

- 15** メディア オプション画面にて
メディア設定条件、ラベル条件、再利用可否等の設定が可能となります。

- 16** メディア共有画面で以下のオプションを利用可能です。

- バックアップを必ずターゲットメディアの先頭に書き込み
- メディアをバックアップ以降の書き込みから保護
- 最低空き容量[]ギガバイトのメディアのみ利用

- 17** 新規セットの作成ポップアップ画面が表示されます。

セットの名前を入力して「保存」をクリックします。

セットの名前は他のセットと混同しない一意の名前を推奨します。

バックアップ ジョブ作成画面に戻ります。バックアップターゲットの項目

に新規作成されたセットが指定されているのを確認します。

- 18** 詳細設定の「新規作成」をクリックします。

- 19** 詳細バックアップ・オプションにて選択できる項目は以下になります。

- バックアップ寿命
- 詳細設定
- セカンダリ コピー
- プレ&ポストスクリプト
- イベント

オプション	現在の値
バックアップ寿命	バックアップ ジョブ (続かない)
詳細設定	有効化: 重複排除
セカンダリ コピー	なし
プレ & ポストスクリプト	なし
イベント	なし

Buttons for 'Cancel' (キャンセル), 'Clone Set' (既存セットをクローン), and 'Save' (保存) are at the bottom right.

20 バックアップ寿命の画面から、アーカイブ、バックアップの寿命設定を行うことができます。

21 新規セットの作成ポップアップ画面が表示されます。

セットの名前を入力して「保存」をクリックします。

セットの名前は他のセットと混同しない一意の名前を推奨します。

バックアップ ジョブ作成画面に戻ります。詳細設定の項目に新規作成されたセットが指定されているのを確認します。

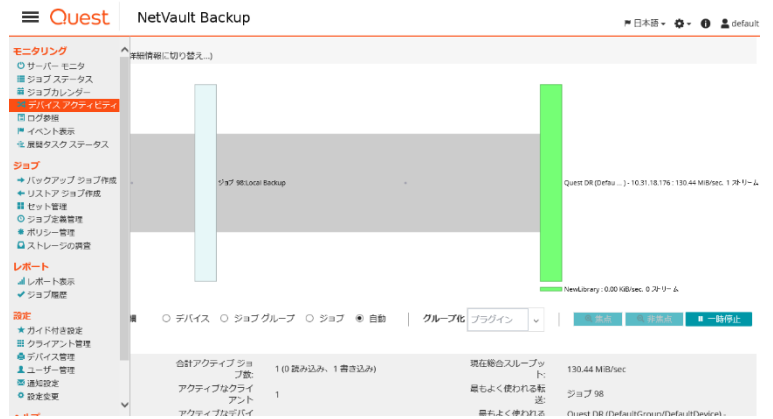
22 すべての設定が完了し「バックアップ ジョブ作成」画面に戻ったら

「保存&実行」をクリックし実行します。

ジョブのアクティビティを参照する場合は「ジョブステータス」を選択し、右図の画面にて確認します。

バックアップデータがデバイスへ書き込んでいる状況を確認する場合、

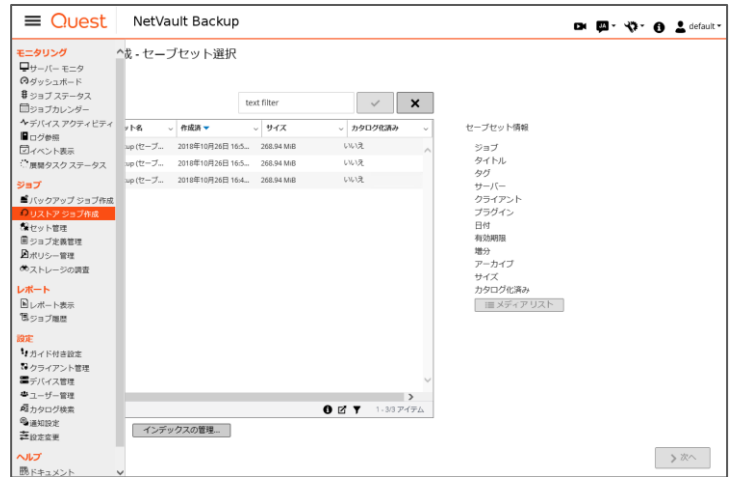
「デバイスアクティビティ」にて右図表示内容を確認ください。



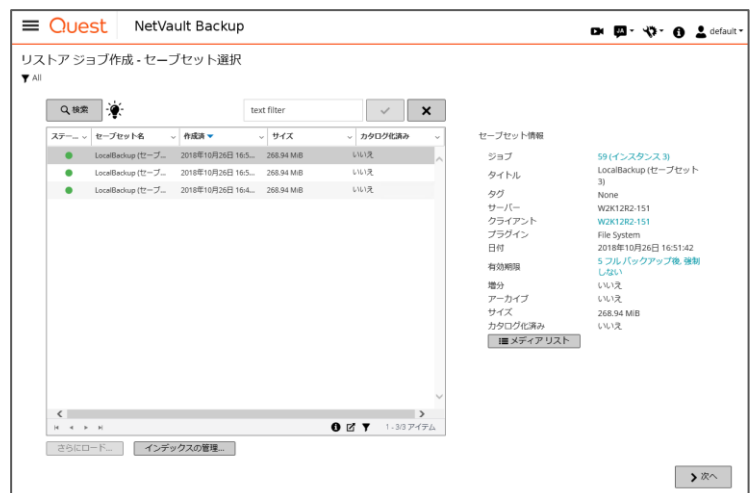
6-2. リストアジョブを作成する

ここでは、ファイルシステムプラグインのリストアジョブについて説明します。

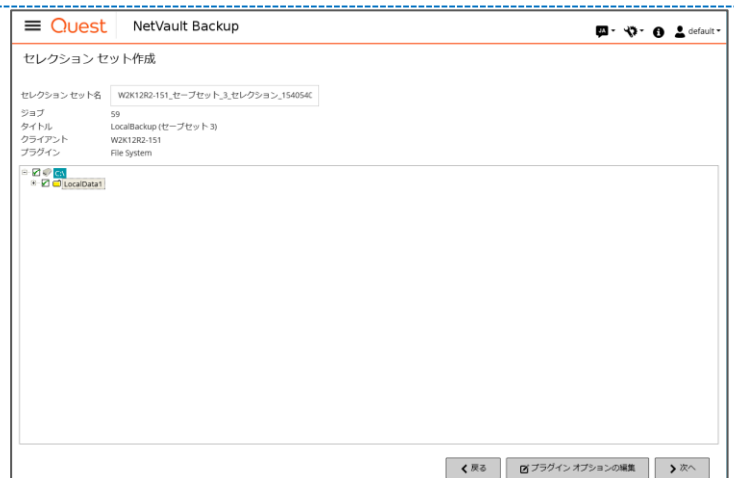
- 1 メイン画面の [リストア ジョブ作成] をクリックすると、
リストア ジョブ-セーブセット選択画面が表示されます。



まずはリストア対象のセーブセットを選択し「次へ」をクリックします。



- 2 セレクション セット作成画面からリストア対象を選択し
「プラグイン・オプションの編集」
をクリックします。



Quest
Join the Innovation.

Memo

リストア先のフォルダー名を変更する場合は、該当フォルダーでマウスの左ボタンをクリックし、[名前変更. . .]から変更します。

「名前変更」では、指定した名前で元の位置にリストアされます。

例) c:¥¥LocalData1 -> c:¥¥NewName

「再配置」では、指定した場所にリストアされます。

例) c:¥¥LocalData1 -> c:¥¥NewLocation¥¥LocalData1

セレクションセット作成

セレクションセット名 W2K12R2-151_セーブセット_3_セレクション_1540541

ジョブ 59

タイトル LocalBackup (セーブセット 3)

クライアント W2K12R2-151

プラグイン File System

C:\

LocalData1

名前変更...

名前変更/再配置

名前変更/再配置するアイテム C:\LocalData1

名前変更 アイテムの新しい名前

再配置 アイテムの新しい場所

[名前変更] ボックスを使用すると、アイテム名は変更されますが、オリジナルの位置へリストアされます。[再配置] ボックスを使用すると、アイテム名は保持されますが、リストア位置を変更することができます。アイテムを名前変更および再配置するには、両方のボックスを入力します。すべてのアイテムで両方のオプションがサポートされているわけではありません。

リセット OK キャンセル

セレクションセット作成

セレクションセット名 NVBU-HOL_セーブセット_5_セレクション_154209737

ジョブ 64

タイトル LocalDataBK (セーブセット 5)

クライアント NVBU-HOL

プラグイン File System

C:\

LocalData1 (名前が変更されました: NewName)

セレクションセット作成

セレクションセット名 NVBU-HOL_セーブセット_5_セレクション_154209694

ジョブ 64

タイトル LocalDataBK (セーブセット 5)

クライアント NVBU-HOL

プラグイン File System

C:\

LocalData1 (再配置されました: c:\NewLocation)

3 File System プラグイン リストア・オプション画面で必要オプションを

選択&入力し「OK」をクリック、

セレクションセット作成で「次へ」をクリックします。

File System プラグインリストア・オプション

最新ファイルを上書き

ファイルのタイムスタンプをリセット

ディレクトリのタイムスタンプをリセット

バックアップ中に変更されたファイルをリストア

リストア・ログのパス

エクスクリージョン・リストのパス

OK キャンセル

- 4** リストア ジョブ作成画面で「詳細設定」の「新規作成」を選択し必要オプションを選択し「保存」をクリックし、
新規セットの作成画面でセット名を入力し「保存」をクリックします。

リストアジョブ作成

ジョブは、セレクション、スケジュールなどのオプション「セット」で構成されています。多数のジョブが共通のセットを共有することがあるため、このように定義されています。このページでは既存のセットから選択または新しいセットを作成することができます。[実行]ボタンが有効になる前に、各セットタイプおよびジョブ名にはエンタリが必要ですが。

ジョブ名

セレクション W2K12R2-151_セーブセット_3_セレク...

クライアント指定 W2K12R2-151

スケジュール Schedule1

ソース オプション 任意のデバイス

詳細設定 選択したバックアップからリストア

新規セットの作成

セット作成の確認

- 5** リストア ジョブ作成画面で「ジョブ名」を入力し「保存 & 実行」をクリックしジョブを実行します。

リストアジョブ作成

ジョブは、セレクション、スケジュールなどのオプション「セット」で構成されています。多数のジョブが共通のセットを共有することがあるため、このように定義されています。このページでは既存のセットから選択または新しいセットを作成することができます。[実行]ボタンが有効になる前に、各セットタイプおよびジョブ名にはエンタリが必要ですが。

ジョブ名

セレクション W2K12R2-151_セーブセット_3_セレク...

クライアント指定 W2K12R2-151

スケジュール Schedule1

ソース オプション 任意のデバイス

詳細設定 RecoverOption1